

# 長崎東ルーブリック【令和4年度】

これまでの学校生活を振り返り、WWL7【学校設定目標】の到達度を自己評価しましょう。

1:自己評価(S~C) 2:自己評価の理由 3:特に力のついた活動(複数選択可):①授業・考查 ②清掃活動 ③探究 ④部活 ⑤行事 ⑥生徒会・係 ⑦学外の活動、その他(自由記述)

		評価項目				1:評価 S A B C	2:評価の理由	3:特に力が ついた活動	
No	WWL7 【学校設定目標】	定義	S(創造)	A(活用II)	B(活用I)				C(習得)
			『つくる』 知識・技能を生かし働かせ、 根拠を伴って創造性ある思考 や行動ができる。	『ととのえる』 習得した知識・技能を活用し て、根拠を伴った思考や行 動ができる。	『できる』 習得した知識・技能を活用し て、思考や行動ができる。				『わかる』 基礎となる知識・技能を習 得できる。
思考力・ 判断力・ 表現力	1	課題発見・ 解決力 主体的に課題に 向き合い発見・ 解決する力	自ら物事に対して、課題を発見 することができ、 <u>妥当性があり、 他分野との関係性を踏まえた解決策</u> を考えることができる。	自ら物事に対して、課題を発見 することができ、 <u>妥当性のある解決策</u> を考えることができる。	自ら物事に対して、課題を発見 することができ、 <u>解決策を考える</u> ことができる。	自ら物事に対して、 <u>課題を発見</u> することができる。			
	2	創造力 学んだことを活 用し、新たな価 値を創造する力	知識・技能を生かし働か せ、 <u>妥当性があり、創造性</u> のある発想ができる。	学んだ知識・技能を活用し て、 <u>妥当性のある発想</u> がで きる。	学んだ知識・技能を活用し て、 <u>自分なりの発想</u> がで きる。	学んだ知識・技能をなぞ ることができる。			
	3	情報分析・ 活用力 物事を多角的に 捉え、情報を選 択・分析・活用 する力	物事を多様な視点で捉え、 複数の情報を論理的に分析し、 それらを相互に関連付けて、 自分の意見の根拠として使用 できる。	物事を多様な視点で捉え、 複数の情報を論理的に分析し、 <u>自分の意見の根拠として使用</u> できる。	物事を客観的な視点で捉 え、 <u>真偽を意識して読み取</u> <u>った情報を、自分の意見の参</u> <u>考として使用</u> できる。	物事を客観的な視点で捉 え、 <u>真偽を意識して正確な</u> <u>情報を読み取る</u> ことができる。			
	4	自己表現力 考え・意見を発 信し、他者に影 響を与える力	<u>表現において対話を意識</u> <u>し、他者も自己も考えが深</u> <u>まるよう、自らの考えや意</u> <u>見を開かれた形で表現する</u> ことができる。	<u>他者との違いを踏まえ、自</u> <u>らの考えや意見を相手に伝</u> <u>わるよう工夫して表現する</u> ことができる。	自らの考えや意見を相手に 伝えるよう工夫して表現す ることができる。	自らの考えや意見を表現す ることができる。			
学びに向 かう力・ 人間性等	5	協働性 多様な人々と対 話や議論を通じ て協働する姿勢	<u>他者の良さを取り入れなが</u> <u>ら、自己の良さを発揮し</u> <u>て、建設的な発言や行動が</u> <u>できる。</u>	<u>多様な考えを受け止め、自</u> <u>己の良さを発揮して、建設</u> <u>的な発言や行動ができる。</u>	<u>他者の考えを受け止めたう</u> <u>えて、建設的な発言や行動</u> <u>ができる。</u>	<u>他者の考えを受け止めるこ</u> <u>とができる。</u>			
	6	学ぶ意欲 学問に関心を持 ち、自ら高度な 学びに向かう姿 勢	<u>学問を学ぶ意義に目覚め、</u> <u>自分が将来学びたい学問分</u> <u>野とともに、幅広い教養を</u> <u>身に付ける努力を続けるこ</u> <u>とができる。</u>	<u>自分が将来学びたい学問分</u> <u>野を自覚し、主体的に総合</u> <u>的な学力を身に付ける努力</u> <u>を続けることができる。</u>	自分の興味・関心と結びつ きにくい内容であっても、 <u>主体性をもって学ぶこと</u> <u>ができる。</u>	自分の興味・関心のある内 容について、 <u>意欲的に取り</u> <u>組む</u> ことができる。			
	7	地球市民性 世界平和を希求 し、持続可能社 会に貢献する姿 勢	<u>多様な人と尊重し合う関係</u> <u>を築くとともに、社会課題</u> <u>について関心を持ち、その</u> <u>解決について思索や行動す</u> <u>る姿勢を維持している。</u>	<u>多様な人と親和的な関係を</u> <u>築くとともに、社会課題に</u> <u>ついて関心を持ち、その解</u> <u>決について思索や行動する</u> <u>姿勢がある。</u>	身近な人とともに、 <u>地域社</u> <u>会と親和的な関係を築くこ</u> <u>とができる。</u>	身近な人(家族や級友)と <u>親和的な関係を築くこ</u> <u>とができる。</u>			
知識・技能		生きて働く知識・技能の習得を目指し、すべての教育活動で身に付けていく ※教科学習等で求められる力量を発揮する							